



さんになちだより

荒川区立第三日暮里小学校

発行日 令和3年6月30日

発行者 校長 末永 寿宣

7月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

あおり縄文漁網プロジェクト参加

～オンラインで交流授業が実現～

校長 末永 寿宣

本校の6年生が、青森県八戸市立是川小学校の5・6年生とオンラインで授業交流しました。

このプロジェクトは、青森県が、東京藝術大学と連携し、青森県の特徴である「縄文文化」をテーマに、美術の視点を用いた社会教育・学校教育と親和性の高い「文化芸術体験・学習プログラム」を作成・展開し、将来の青森県を担う人材育成を推進していくために設定されたものです。

本校は、併設園である東日暮里幼稚園が、昨年度東京藝術大学と共同研究している関係で、プロジェクトに参加することになりました。6年生が社会科の学習で縄文時代を学習している最中、このプロジェクト参加のお話をいただいたことは、大変ありがたいことでした。奇しくも、授業交流校に指定された是川小学校は、縄文遺跡群世界遺産に登録される「八戸市是川石器時代遺跡」のお膝元の小学校でした。今回の縁を大切にして、今後の交流継続を期待しています。



編み方をマスター

事前学習として、漁網を編む練習をしました。作り方の映像を見ながら、縄文時代と同じ製法で漁網を編みます。練習では、たこ糸を使いました。

子どもたちは、編み方をマスターしようと真剣でした。6名が1グループで、制限時間は20分間です。6年生全員がチャレンジして上手になりました。



オンラインで交流授業

Google Workspace for Education を活用し、是川小学校の5・6年生と体育館で同時に授業を始めました。子どもたちは、互いの挨拶をしっかりと聞き、漁網の製作に取りかかりました。オープニングセレモニーでは、児童の代表が、「是川小学校の皆さんと、縄文時代を生きた人たちの思いを感じていきましょう。」と立派に挨拶をしました。



縄文人の苦勞を体験

ご指導いただいたのは、東京藝術大学の渡辺先生と中嶋先生です。

湿らせた麻から両手でよって紐を作り、それをつないで漁網の材料にします。当時の作り方を忠実に再現し、縄文人の苦勞を体験しました。

編み方の歌に合わせて

特製の漁網編み機で、丁寧に編んでいきます。編み方はとても複雑ですが、編み方の歌があって、それに合わせると分かりやすいという感想が子どもから聞かれました。

た。どの子も最後まで集中して取り組みました。完成した漁網は、色付けをして、エコバックに押し付け模様になります。エコバックはおみやげとして、自宅に持ち帰ります。ご活用ください。



荒川ケーブルテレビ「こんにちは荒川区」

- ・ウィークリーニュースで当日の様子が放送されます。
- ・日時／7月12日（月）～7月18日（日）／9:00-、 12:00-、 18:00-、 21:00-
- ・放送終了後、荒川区のホームページから動画が見られます。



今回製作した「漁網」は、三日小の展覧会（11月12日～13日）で学年作品として展示します。その後、青森県に寄贈し、このプロジェクトに参加した学校の漁網と合体させ、実際に縄文式漁に使うということです。最終的には、青森県立美術館に展示される予定です。